

3月18日～3月24日 商品検査実績

●微生物検査 182 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 68 検体

食品添加物検査	18 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	今週は実施しておりません。	
簡易農薬検査	9 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	GMO検査	7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	米のDNA異種米判定	今週は実施しておりません。
	コシヒカリ品種判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
米鮮度判定	3 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
ヒスタミン検査	8 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
クドア (養殖ヒラメ寄生虫)	今週は実施しておりません。	
放射性物質検査 (スペクトロメータ※①)	8 検体 (米 3、野菜 3 検体、果物 1 検体、冷蔵日配 1 検体) 実施しました。全て検出下限値 (約 20Bq/kg) 以下となりました。	
放射性物質検査 (サーベイメータ※②)	今週は実施しておりません。	

- ・ヒスタミン検査＝ヒスタミンによる食中毒は、アレルギー様食中毒の一つであり、鮮度の低下したマグロやカツオ、サバなどの赤身魚やその加工品が原因となることが多いため、検査でヒスタミンの濃度を測定します。
- ・アフラトキシン＝アスペルギルス属の一部のカビが産生するカビ毒で肝臓がんの原因の一つと考えられています。アフラトキシンが作られる最適条件は、温度 30℃前後、湿度 95%以上であるため、高温多湿の熱帯地方等が最も適しています。輸入食品の安全性に関わるため、日本では、輸入時に行う抜き取りのカビ毒検査やカビそのものが生育していないか外見上の検査を実施しています。なお、日本国内で、食品にアフラトキシン汚染が起きる可能性は低いものと考えられています。

※①NaI シンチレーションスペクトロメータ：<sup>しゃへいたい</sup>遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

※②NaI シンチレーションサーベイメータ：<sup>しゃへいたい</sup>遮蔽体無しの持ち運びできる機器：ガンマ線総量を測定



組合員さん VOICE

組合員さんの

## 想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。

減塩ごまあえの素50g(三島食品)は、これ1つでごまあえができて、塩分もひかえめなので、いそがしい私はとても助かっています。このごろ案内がないので案内してほしい。

## 実現しました

商品のリクエストをいただきありがとうございます。ご要望いただきました商品は、しばらく案内してありませんでしたが、4月3日に案内できることになりました。この商品は、ゆでた野菜に混ぜるだけで手軽にごまあえができて、塩分も25%カット(メーカー比)した粉末調味料です。この機会にぜひご利用をお願いいたします。



商品のリクエストをいただきありがとうございます。ご要望いただきました商品は、しばらく案内してありませんでしたが、4月3日に案内できることになりました。

## 今月のお知らせ 花の苗・球根の育てかたなどのお問い合わせについて



くらしのパートナーなどの案内書で、案内しております花の苗・球根などの商品について、植えたがなかなか芽が出てこない。花が咲かない。また、はじめて買った花だけど、うまく育てるにはどうすれば?というときには、案内書や商品に添付しております電話番号(通話料無料)にお電話をいただきますと、取引先の担当者をご相談を受け、開花や結実までサポートさせていただきます。電話受付時間にお電話することが難しい場合は、配達担当者までお問い合わせください。



## 商品検査レポート 2月に実施した商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPにも記載しています。▶<http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

<b>微生物検査</b>	検査数	店舗新規商品検査において、水産1商品が大腸菌群、水産1商品が一般生菌数と大腸菌群、水産1商品が一般生菌数にて自主基準不適合となったことから取扱いをしないこととしました。								
	925									
<b>理化学検査</b>	検査数	主な検査項目	食品添加物	簡易農薬	畜種判定	残留農薬 (外部検査機関へ依頼)	精米品種判定 (外部検査機関へ依頼)	カビ毒	検査の結果、いずれも問題ありませんでした。	
	402		90	50	6	24	4	6		
<b>放射性物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)</b>	検査数	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日記	飲料	検査の結果、全て検出下限値(20Bq/kg)以下でした。
	62	11	15	15	9	4	5	2	1	
<b>放射性物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)</b>	検査数	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。					
	15	6	4	5						

※①NaI(エヌイーアイ)シンチレーションスペクトロメータ:遠赤外線(しゃへいたい)付検出器で機種を特定できるもの:ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定

※②NaIシンチレーションサーベイメータ:遠赤外線なしの持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何

回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線や宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

